

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公開番号】特開2005-335389(P2005-335389A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2005-154048(P2005-154048)

【国際特許分類】

B 32B 3/12 (2006.01)

【F I】

B 32B 3/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多層建築材料用のコア材料であって、

該コア材料が1つ以上のコア材棒から成り、

各コア材棒が、格子セルの壁部により規定された複数の格子セルから成り、

格子セルの壁部が、母材と強化材とから成り、

隣接する格子セルの間にある隣接する格子セルの壁部の一部が互いに交差しており、これにより一対の格子セルの壁部の各々が、上記隣接するセルの一方を規定する壁部の一部を形成し、同時に上記隣接するセルの他方を規定する壁部の一部を形成するコア材料。

【請求項2】

上記一対の隣接する格子セルの壁部の各々が、該壁部の交差を通過する方向に、途切れずに延びている請求項1に記載のコア材料。

【請求項3】

上記母材が、成層材料又は密閉材料から成る群から選択される請求項1又は2に記載のコア材料。

【請求項4】

上記強化材が、繊維状強化材、リボン状強化材、又はストリップ状強化材から成る群から選択される請求項1乃至3のいずれかに記載のコア材料。

【請求項5】

上記格子セルの上記壁部が、透過可能な網目状の孔を含んでいる請求項1乃至4のいずれかに記載のコア材料。

【請求項6】

1つ以上の上記格子セル内の容積が、少なくとも部分的に充填されている請求項1乃至5のいずれかに記載のコア材料。

【請求項7】

充填材が、発泡材料である請求項6に記載のコア材料。

【請求項8】

上記強化材が、ブラシ状端部を有する強化材要素を含んでいる請求項1乃至7のいずれかに記載のコア材料。

【請求項9】

上記ブラシ状端部が、外装材層と結合するために上記コア材料の表面に存在している請求項8に記載のコア材料。

【請求項10】

上記外装材層が、接着した表面材、噴霧された表面材、及び鑄込み表面材から成る群から選択される請求項9に記載のコア材料。

【請求項11】

上記コア材料の高さが、異なる切断面ごとに相違する、及び／又は切断面内で変化する請求項1乃至10のいずれかに記載のコア材料。

【請求項12】

長軸方向に沿って湾曲した1つ以上のコア材棒から成る請求項1乃至11のいずれかに記載のコア材料。

【請求項13】

それぞれの長軸方向に沿って異なる程度に湾曲している複数のコア材棒から成る求項1乃至12のいずれかに記載のコア材料。

【請求項14】

横方向に配列した複数のコア材棒から成るコア材料であり、

該コア材料が、コア材棒の長軸に対して垂直方向に湾曲している請求項1乃至13のいずれかに記載のコア材料。

【請求項15】

上記格子セルが、それらの上側又は下側の境界面において、直線状、屈曲状、及び湾曲状の格子セルの壁部から成る群から選択される断面形状を有する請求項1乃至14のいずれかに記載のコア材料。

【請求項16】

隣接する格子セルの交差した壁部が、X字型を形成している請求項1乃至15のいずれかに記載のコア材料。

【請求項17】

隣接する格子セルの交差した壁部が、線に沿って互いに閉じている請求項1乃至15のいずれかに記載のコア材料。

【請求項18】

上記格子セルの上記壁部の一部が傾斜して、上記コア材料の上側又は下側の境界面に斜めに交わっている請求項1乃至17のいずれかに記載のコア材料。

【請求項19】

互いに結合された構造の異なる複数のコア材棒から成る請求項1乃至18のいずれかに記載のコア材料。

【請求項20】

互いに配列の異なる格子セルを有するコア材棒から成る請求項19に記載のコア材料。

【請求項21】

断面形状の異なる格子セルを含むコア材棒から成る請求項19又は20に記載のコア材料。

【請求項22】

格子セルを含むコア材棒から成り、

上記格子セルのセル容積が、異なる程度に充填されている請求項19乃至21のいずれかに記載のコア材料。

【請求項23】

格子セルを含むコア材棒から成り、

上記格子セルの壁部が、互いに異なる材料から成る請求項19乃至22のいずれかに記載のコア材料。

【請求項24】

格子セルを含むコア材棒から成り、

上記格子セルの壁部は、上記コア材料の境界面に対して互いに異なる角度位置を有する

請求項 1 9 乃至 2 3 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 2 5】

請求項 1 乃至 2 4 のいずれかに記載のコア材料を、2 つの外装材層の間にサンドイッチして成る建築材料。

【請求項 2 6】

多層建築材料用のコア材料であって、

上記コア材料が、母材と強化材とから成る格子セルの壁部によって規定された複数の格子セルから成り、

上記強化材が、コア材料の表面に、ブラシ状端部を有する強化材要素を含んでいるコア材料。

【請求項 2 7】

1 つ以上の格子セル内の容積が、発泡材料により、少なくとも部分的に充填されている請求項 2 6 に記載のコア材料。

【請求項 2 8】

上記発泡材料が、その容積を減少する処理をされて、強化材要素のブラシ状端部を露出している請求項 2 7 に記載のコア材料。

【請求項 2 9】

請求項 2 6 乃至 2 8 のいずれかに記載のコア材料を、上記強化材要素の上記ブラシ状端部と結合した 2 つの外装材層の間にサンドイッチして成る建築材料。